



TOGO! だより

自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより
令和5年12月25日 第25号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

12/25(月) 冬休みに入りました。元気に過ごしていますか？

2023年が、もう少しで終わろうとしています。「コロナ明け」「暑かった夏」といろいろ思い出されますが、東郷っ子みんなで様々な活動ができるようになったことが、一番印象に残った令和5年だったと思います。



世界に目を向けると、野球世界一を決めるWBC（ワールドベースボールクラシック）は、日本の劇的な優勝ということもあって、印象に残った人も多かったのではないのでしょうか。その中で、アメリカとの決勝戦を控えた円陣で、大谷翔平選手がチームメイトやスタッフ全員に伝えた言葉は、聞いた人の心を強く打つものだったと思います。

「今日だけは、（アメリカの選手を）憧れるのをやめましょう。（すごい選手がいるけれど）やっぱり憧れてしまったら超えられない。ぼくらは今日、超えるために、トップになるために来たので、今日一日だけは彼らへの憧れを捨てて、勝つことだけを考えていきましょう。さあ、いこう！」という言葉です。



私たちには、「憧れの存在」というべき人が、1人2人いると思います。「あの人のようになりたい」「どうすれば、憧れている人みたいになれるかな」と、憧れの気持ちは、自分をよりよくしていくための原動力となります。

東郷小学校でいえば、例えば2年生と1年生の間柄です。この前、2年生が「おもちゃの国」に1年生を招待しました。その時1年生は、2年生の一生懸命な気持ちや行動から2年生の優しさや頑張りにつれ、うれしい気持ちになったのだと思います。その気持ちは「今度東郷こども園の5歳児さんが来たら、やさしくしてあげよう」という思いにつながります。（残念ながら12月中に5歳児さんを招待することはできませんでしたが、2月のわくわく交流デーで活躍する1年生を楽しみにしていますよ!）

12月最後のクリスマス集会は、学級閉鎖で来られなかった6年生の分まで、5年生の運営委員さんが楽しいクリスマスの劇やクイズで全校児童を楽しませてくれました。その頑張りには本当にすばしかったです。大成功に終わったあと、5年生から「6年生が見ていると思うと、緊張するんですね」という声が聞かれました。これはまさしく、6年生への憧れの気持ちそのものです。5年生は、6年生に対する尊敬の思いを抱きつつ、卒業を祝う会などの大きな行事を中心となって動かし、一步一步、6年生への階段を登っていくのです。本当に楽しみです。



全校児童の皆さん、冬休み前の22日（金）が臨時休業となりましたが、今は、事前に配られたおたよりを見ながら、冬休みの生活を有意義に過ごしていることと思います。ケガや事故のないよう十分に気をつけて、和やかな年末年始をご家族と過ごしてくださいね。



来る2024年1月9日（火）には、皆さんの元気な声が聞かれることを楽しみにしています。どうぞ、よいお年をお迎えください。



<保護者の皆様へ>

12月22日（金）には大雪のため臨時休業とさせていただき、大変なお世話をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。

2023年中は東郷小学校教育活動に多大なご理解とご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。2024年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

